

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第3区分  
 【発行日】令和6年5月29日(2024.5.29)

【国際公開番号】WO2021/060151  
 【出願番号】特願2020-571733(P2020-571733)

【国際特許分類】

C 0 8 J 5/18(2006.01)  
 B 3 2 B 27/00(2006.01)  
 B 3 2 B 27/36(2006.01)

10

【F I】

C 0 8 J 5/18 C F D  
 B 3 2 B 27/00 L  
 B 3 2 B 27/36

【手続補正書】

【提出日】令和6年5月20日(2024.5.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つの離型層を有する離型フィルムであって、前記離型層は、芳香族ポリエステル樹脂を含有し、全反射測定法による赤外吸収スペクトルに基づいて下記式(1)で求められる配向関数  $f$  が0.35以上であることを特徴とする離型フィルム。

【数1】

$$f = -2 \frac{(A2 - A1)}{(A2 + 2 \times A1)} \quad (1)$$

30

式(1)中、 $A1$ は、 $C=O$ 伸縮運動による吸収が最も大きな入射方向(第1方向)における $C=O$ 伸縮運動による吸収強度を表し、 $A2$ は、第1方向に垂直な方向(第2方向)における $C=O$ 伸縮運動による吸収強度を表す。

【請求項2】

前記離型層は、透過法による赤外吸収スペクトルに基づいて下記式(2)で求められる配向関数  $g$  が、前記離型層表面の配向関数  $f$  より小さいことを特徴とする請求項1記載の離型フィルム。

40

【数2】

$$g = -2 \frac{(A4 - A3)}{(A4 + 2 \times A3)} \quad (2)$$

式(2)中、 $A3$ は、 $C=O$ 伸縮運動による吸収が最も大きな入射方向(第3方向)における $C=O$ 伸縮運動による倍音吸収強度を表し、 $A4$ は、第1方向に垂直な方向(第4方向)における $C=O$ 伸縮運動による倍音吸収強度を表す。

【請求項3】

50

前記離型層は、表面の算術平均粗さ  $R_a$  が  $2 \mu m$  以上であることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の離型フィルム。

【請求項 4】

芳香族ポリエステル樹脂は、ポリブチレンテレフタレート樹脂を含有することを特徴とする請求項 1、2 又は 3 記載の離型フィルム。

【請求項 5】

離型層を構成する樹脂に占めるポリブチレンテレフタレート樹脂の割合が 75 重量% 以上であることを特徴とする請求項 4 記載の離型フィルム。

【請求項 6】

更にクッション層を有し、前記クッション層の両側に離型層を有することを特徴とする請求項 1、2、3、4 又は 5 記載の離型フィルム。 10

【請求項 7】

R to R 方式によるフレキシブル回路基板の製造に用いられることを特徴とする請求項 1、2、3、4、5 又は 6 記載の離型フィルム。

【請求項 8】

前記離型層の表面処理前の表面の算術平均粗さ  $R_a$  が  $0.30 \mu m$  以下である、請求項 1、2、3、4、5、6 又は 7 記載の離型フィルム。

【請求項 9】

請求項 1、2、3、4、5、6、7 又は 8 記載の離型フィルムを製造する方法であって、前記離型フィルムを表面処理する工程を含み、前記離型層の表面処理前の表面の算術平均粗さ  $R_a$  が  $0.30 \mu m$  以下である離型フィルムの製造方法。 20

30

40

50